

東金市のなりたち

明治初期の頃 1町57村があった時代

長く続いた江戸時代が終わり、明治時代が始まったのは1868年です。明治維新は日本の歴史上かつてないほどの激変をもたらしました。当時、現在の東金市域は、山辺郡1町56村と武射郡1村に分かれていました。ここが宮城県、木更津県の管轄を経て千葉県の管轄となったのは、明治6年のことです。

明治22年の合併 現在の地区名として残る1町7村

民主化・近代化が進み、世の中も安定した明治22年(1889)、大日本帝国憲法が公布されました。この年、全国的に町村合併が行われます。この合併で現在の市域は、東金町・公平村・丘山村・大和村・正気村・豊成村・福岡村・源村の1町7村となりました。また、明治30年(1897)には山辺と武射の2郡を一つにして山武郡に変わりました。

昭和28年の合併

昭和20年(1945)の終戦を境に、日本は再び大きな変革を経験します。さまざまな制度改革の一つに、町村合併についての法律もありました。昭和28年(1953)に東金町・公平村・丘山村・大和村・正気村・豊成村が合併。人口2万9778人、戸数5458戸、面積69.7平方キロメートルの新しい東金町となりました。

この時点で、現在の市域は東金町・福岡村(一部を除く)・源村(一部を除く)の1町2村となり、翌年の市誕生への準備が整えられました。

昭和29年の合併 東金市の誕生

昭和29年(1954)3月から4月にかけて、全国に約90の新市ができ

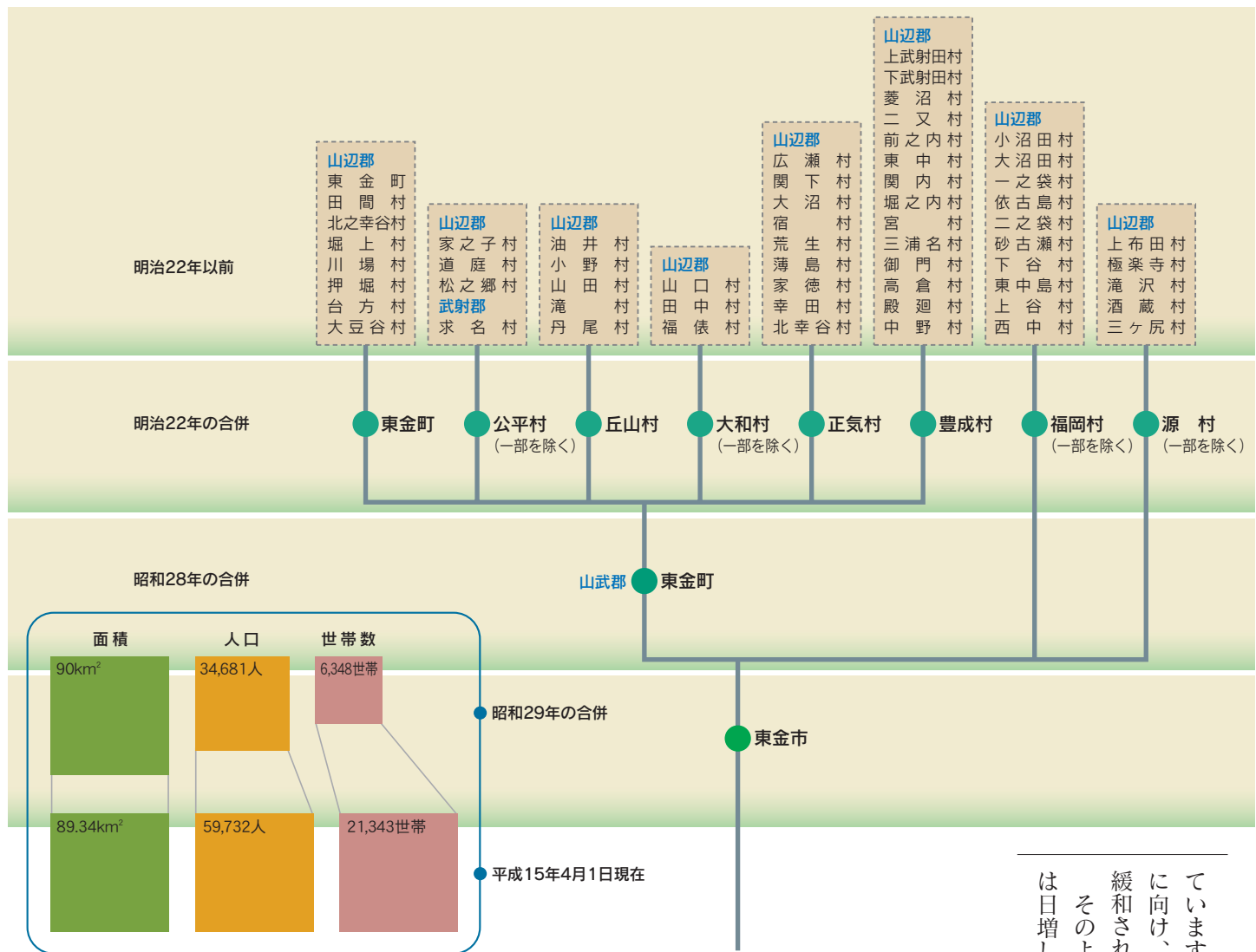


分村した地域

源村(植草・下布田・雨坪・武勝)→山武町へ
公平村(姫島)→成東町へ
大和村(山口の一部・養安寺・小西)→大網白里町へ
福岡村(桂山・北吉田・九十根・長園・下ヶ傍示)→大網白里町へ

History of Togane

Togane is composed of 8 districts: Togane, Kohei, Okayama, Yamato, Masaki, Toyonari, Fukuoka and Minamoto, each of which has its own individuality. Independent towns or villages before the merger, they still retain vestiges of their former status and sports rivalries with other districts.



ています。これは地方自治の合理化に向け、市制施行に必要な諸条件が緩和されたためです。そのような中で市制を期待する声は日増しに高まり、1町5村の合併

からわずか1年後の昭和29年4月1日に、東金町・福岡村・源村の1町2村が合併。千葉県下13番目の市として東金市が誕生し、新しい都市づくりへ大きな一歩を踏み出しました。

明治15年当時の地図
(国土地理院所蔵)
The Togane map in 1882
(from the files of the Geographical Survey Institute)

